

事務事業ID 1683		平成 28 年度		事務事業マネジメントシート		平成 28 年 4 月 28 日作成																															
事務事業名		地ノ森(新田)地区内水排水対策事業		☒ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																																	
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成27 年度 ～ 平成28 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		予算科目																															
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目																												
	基本事業名	生活道路の整備				01	08	02	03	72																											
根拠法令																																					
所属	部課名	都市整備部建設課																																			
	課長名	菅原 博幸																																			
	係 名	土木係	電話	0192-27-3111																																	
	担当者	岡田 亮平	内線	313																																	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																	
東日本大震災により地盤沈下した地ノ森(新田)地区は、高潮・大雨時の冠水が常態化し、大船渡駅周辺地域の事業所等の衛生環境を損なっており、事業再開を希望者にとって商業地としての活用が困難な状況になっている。本事業では、民地の内水排除(嵩上げ)、橋梁の嵩上げ、道路工、水路改修(嵩上げ)、境界復元を実施する。なお、民地の嵩上げについては、復興交付金は投入せず、地権者と調整のうえ、工事残土を活用し、敷き均しを地権者負担として実施する。				総投入量 (千円) <table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>155,000</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td>1,560</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>156,560</td> </tr> </table>				事業費	国庫支出金		財源内訳	都道府県支出金			地方債			その他	120,000		一般財源	35,000		事業費計 (A)	155,000	人件費	正規職員従事人数	4		延べ業務時間	390		人件費計 (B)	1,560		トータルコスト(A)+(B)	156,560
事業費	国庫支出金																																				
財源内訳	都道府県支出金																																				
	地方債																																				
	その他	120,000																																			
	一般財源	35,000																																			
	事業費計 (A)	155,000																																			
人件費	正規職員従事人数	4																																			
	延べ業務時間	390																																			
	人件費計 (B)	1,560																																			
	トータルコスト(A)+(B)	156,560																																			
【計画期間】 ・測量調査設計(1式) 平成27年度～平成28年度 ・工事施工(道路L=384m、水路L=100m) 平成28年度 ・境界復元測量 平成28年度																																					

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 測量調査設計(H28へ繰越し) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 測量調査設計(H27から繰越し) 工事施工(384+100m) 境界復元測量					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
					名称				単位	
					ア	測量調査面積			m ²	
					イ	施工延長			m	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市道新田1・3・4号線、役料新田線 水路 周辺地権者					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
					名称				単位	
					カ	計画総延長			m	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市道及び水路が整備される。 地権者により安全に利用してもらう。					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
					名称				単位	
					サ	整備される道水路延長			m	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全安心な土地活用ができる。					シ				冠水による被害を抑制できる区域	m ²
					ス					
(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千 円							
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円							
		その他	千 円						120,280	
		一般財源	千 円						34,570	
	事業費計 (A)		千 円					0	154,850	
	人件費	正規職員従事人数	人					2	2	
		延べ業務時間	時 間					150	240	
		人件費計 (B)	千 円					600	960	
	トータルコスト(A)+(B)		千 円					600	155,810	
⑤活動指標		ア	m ²					25,400	25,400	
		イ	m					0	484	
		ウ								
⑥対象指標		カ	m					0	484	
		キ	人					40	40	
		ク								
⑦成果指標		サ	m					484	484	
		シ	m ²					25,400	25,400	
		ス								

事務事業ID	1683	事務事業名	地ノ森(新田)地区内水排水対策事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 地盤沈下による浸水対策として、平成27年度より事業を開始した。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 地域の理解が進み、協力的になった。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 地域から、早期完成を強く要望されている。	

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 整備により、安全・安心に利用できるもので、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 公共施設の整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 被災に起因した整備であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
工事 施工	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 十分な幅員での計画延長となっており、これ以上の成果向上余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 浸水により、安全で安心に利用できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 個別事業であり、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 公共物であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	1683	事務事業名	地ノ森(新田)地区内水排水対策事業
--------	------	-------	-------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者とし 吉浜漁港線道路新設・改良事業		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		良好な事業実施がなされた。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成28年度事業完了に向け、事業を推進する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)		
2次評価者	建設課長	菅原博幸

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

市 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☐ 記述は十分なされている

市 ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由
① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり		

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容)		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
